

の課題として残った。

以上、今回の実験により、ベローズに満たした液体の運動を利用したダンパーは、顕著な質量効果と減衰効果により

- 1) 構造物の周期を大幅に長くする
- 2) 共振々幅を小さくする

ことが判明し、構造物の地震応答を小さくするための耐震ダンパーとして有望であると推定される。

(1973年1月6日受理)

引 用 文 献

- 1) 久保慶三郎・岡田恒男・川股重也，“都市構造物の耐震強度の調査研究”，生産研究，24巻3号，pp. 8—17，昭47年3月。
- 2) 川股重也，“免震構造は可能か”，臨時事業委員会報告：都市における災害・公害の防除に関する研究，1—5，昭47年3月。



正 誤 表 (2月号)

ページ	段	行	種 別	正	誤
53	右	9		$R_{\infty} = \sqrt{(x-x_m)^2 + (y-y_m)^2}$ (10)	$R_m = \sqrt{(x-x_m)^2 + (y-y_m)^2}$ (10)
53	右	11		$-\pi K e^{K(z+z_m)} \{ \dots \}$ (12)	$-\pi K e^{(Kz+z_m)} \{ \dots \}$ (12)
54	左	7		$\frac{\partial}{\partial n} [e^{Kz} J_0(Kr)]$ (15)	$\frac{\partial}{\partial n} [e^{KZ} J_0(Kr)]$ (15)
54	左	13		$\frac{\partial}{\partial n} [e^{Kz} J_0(Kr)]$ (20)	$\frac{\partial}{\partial n} [e^{KZ} J_0(Kr)]$ (20)